



レインツリーの国

有川 浩 著
△角川文庫▽



小堀 佐代子
(野木小学校教諭)

「伸(主人公)ってすごく優しい人だね。どんなときも相手の心に寄り添って励ましてる。こういうのを人を慮るって言うんじゃない。」読み聞かせをしていた幼かった娘とも最近では、本を交換して読み合い、感想を簡単に語り合う関係になりました。

この本は、耳の不自由なヒロイン「ひとみ」がインターネットのサイト「レインツリーの国」を開き、「伸」と互いの思い出の本について感想を語り合う中で、惹かれ合い、ぶつかり合いながら成長していく物語です。伸は、どんなときでも分かり合うまで語り合い、最後までひとみに寄り添います。その優しさが、ひとみを強く成長させたのだと思います。そして、伸の「最後は行けるところまで行こう」という困難に屈しない男らしさに胸がときめきました。

この本は、障害者、健常者にかかわらず語り合うことの大切さやどんなときでも人に寄り添うことの大切さを私に教えてくれました。最後に、レインツリーとはネムノキという意味で花言葉は「胸のときめき」だそうです。

のぎ子通信

赤羽みちえ



三品 あいりちゃん(2歳6か月)
悠真くん(5か月)

お歌をうたうのが大好きなお姉ちゃんと、生まれた時から髪の毛のツツツがトレードマークの弟ゆうま。あくあく大きくなってね。

問政策課 ☎(57)4134



かがやく
横浜高校のエースとして夏の甲子園に出場!!
板川 佳矢 さん(17)
(野木中学校出身)

- ◆野球を始めたきっかけは?
小学校の運動会で学童野球の誘いがあり、一日体験したら楽しかったので始めることにしました。
- ◆神奈川県の高校に進学して、外からみた野木町の印象は?
都会と違って野木町は落ちつくことができ住みやすいので、将来また戻ってきて野木町で暮らしたいと思います。
- ◆甲子園のマウンドに上ったときの気持ちは?
子どもの時から憧れていた甲子園のマウンドに立った時は、今までの努力と練習の成果が報われ嬉しく思いました。お客さんの声と数にはびっくりしました。
- ◆今後の目標と、将来の夢を教えてください。
また甲子園に出場して、次は勝ち進んで野木町のみなさんにまた見てもらえるように、これから頑張っていきます。野球人として、将来の夢は、プロ野球選手!!

町の人口 9月1日現在
◇人口 男 12,525人 女 12,660人 計 25,185人 ◇世帯数 9,792